

J A北海道厚生連帯広厚生病院 当院職員の労働と腰痛に関する実態調査

【本調査の趣旨】

職場における腰痛予防については、労働者の健康確保にとって大きな課題であり、2013年には厚生労働省が「職場における腰痛予防対策指針」を改正し、国をあげて予防対策が推進されてきました。当院においても、2014年、2019年に全職員の腰痛実態調査を行ない、巡視時の教育や新人に向けた腰痛予防教育、外部講師を招いての研修会を実施するなど、腰痛予防教育を進めています。これまでの腰痛予防教育の効果検証を実施し、更なる対策の検討をするため第3回の腰痛実態調査を企画いたしました。

お忙しい中とは存じますが、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【個人情報の取り扱いについて】

本調査により得られた個人情報は、調査目的以外には使用しません。

調査結果は、調査全体の統計解析結果として公表し、個人が特定されることは一切ありません。

【倫理的配慮について】

・この研究への協力については、自由意志によるものであり、決して強制ではありません。途中で参加を中止された場合でも、不利益を被ることは一切ございません。

・回答は無記名とし、回答をパソコンに入力して頂く方法をとります。なお、パソコンへの回答入力をもって同意が得られたものとさせていただきます。

(・本研究は、帯広厚生病院倫理委員会の承認を得ています。) 令和6年7月の委員会にて申請予定

【締め切り日】

2024年8月1日～8月23日までに、電子カルテ端末掲示板より回答の入力をお済ませください。

【調査実施主体】 帯広厚生病院 安全衛生委員会

【連絡先】 帯広厚生病院 総務課 産業保健師 太田 由紀 スマホ6674